

2017年1月12日

各 位

旭化成建材株式会社

「快適空間ラボラトリー™」の開設について

「あたたかい暮らし」が体験できる、学べる「快適空間ラボラトリー™」

2017年1月11日 茨城県猿島郡境町にオープン

旭化成建材株式会社（本社：東京都千代田区、社長：堺 正光、以下「旭化成建材」）快適空間研究所*¹では、旭化成建材のネオマフォーム工場近接地（茨城県猿島郡境町）において、自社の断熱材「ネオマ™フォーム」*²を用いた施設「快適空間ラボラトリー™」（体験棟および展示棟）を2017年1月11日に開設いたしましたのでお知らせいたします。開設に際しては竣工式およびオープニングセレモニーを執り行い、セレモニーには境町長およびその他関係各位約50名に参加いただきました。また、1月20日には報道関係者様向け見学会を開催する予定です。

1. 背景

旭化成グループでは、「クリーンな環境エネルギー社会」「健康・快適で安心な長寿社会」の実現に取り組んでおり、旭化成建材が属する住宅領域は、人びとの健康で快適な生活に貢献し続けることを目指しています。近年、健康管理や省エネの関心の高まりにより、住宅を適温に保つ断熱性能が重視されていることなどから、旭化成建材では、「日本の家は寒い」という事実を社会的課題としてとらえ、断熱材事業を通じて「あたたかい暮らし」（温熱環境に優れた空間での新しいライフスタイル）の実現を図ることを断熱材事業の重要な事業戦略の一つとしています。

快適空間研究所では、2015年に首都圏における一戸建て持家とマンション持家の「住まいの温熱環境の実態と満足度調査」（2016年8月10日付リリース参照）を実施し、一戸建て住宅で住まいの温熱環境に満足していない方が5割を超えている理由として、生活者の温熱環境に関する意識が低く、知識も少ないことが、理由の一つであるとの結論を得ました。これらの経緯を踏まえ、当社は「あたたかい暮らし」を実現していくための活動として、啓発活動や情報発信活動を行っていくこととしました。その活動の一環として、この度、自社のフェノールフォーム断熱材「ネオマ™フォーム」を用いた施設「快適空間ラボラトリー™」をネオマフォーム工場の近接地に開設いたしました。

* 1 「旭化成建材 快適空間研究所」

2014年より設立。生活者の住まいの温熱環境に関する意識、知識を高めていくための調査研究・情報発信の他、より良い製品とサービスの提供を通じて温熱環境に優れた空間やそこでの新しいライフスタイルを提案することを目指しています。

* 2 「ネオマTMフォーム」

「ネオマTMフォーム」は、フェノール樹脂を主原料とする発泡プラスチック系断熱材です。2000年10月に業界初となるノンフロンによる断熱材として上市しました。その特長は、1) 断熱性能の良さを表す熱伝導率の値が最高レベルで、2) 断熱性能を長期にわたって維持でき、3) フェノール樹脂の熱硬化性を活かし優れた耐燃焼性を備えるというもので、戸建住宅や一般建築、産業用途などさまざまな分野で幅広く採用されてきました。

2. 「快適空間ラボラトリーTM」について

「快適空間ラボラトリーTM」は「体験棟」と「展示棟」で構成されています。

「体験棟」は世界トップレベルの断熱性能を持つ断熱材「ネオマTMフォーム」を用いた高断熱・高气密住宅です。宿泊体験が可能で、夏・冬ともエアコン1台で家全体が快適な「あたたかい暮らし」を体験していただくことができます。また、1年間の冷暖房費は約11,300円*³と現行の省エネルギー基準仕様と比較して大幅に削減でき、快適性と経済性の両立を実現しています。

「展示棟」は断熱材、窓、換気装置などの素材・設備展示の他、説明パネルや実験模型などにより、これまで生活者にはわかりにくいとされてきた温熱環境や断熱性能に関する知識を楽しく学ぶとともに、旭化成建材の歴史や「ネオマTMフォーム」の良さなどを理解していただく場となっています。

今後は、主に工務店等の断熱材ユーザーの皆様を通じて「あたたかい暮らし」の実現を推進するために、温熱環境や断熱性能の重要性、素材の品質等をその社員様や施主様に理解していただく場として、「体験棟」「展示棟」を活用していきます。

<概要>

- 1) 名称 : 旭化成建材 「快適空間ラボラトリーTM」
- 2) 所在地 : 茨城県猿島郡境町陽光台
- 3) 敷地面積 : 1451 m²
- 4) 建物概要 : ①体験棟 木造2階建 延床面積 130.1 m²
②展示棟 木造2階建 延床面積 225.8 m²
- 5) 断熱性能(体験棟): $U_A *^4 = 0.20$ (W/m²・K)
- 6) 開設日 : 2017年1月11日

* 3 計算条件：

1. 体験棟における外皮性能・室内温熱環境シミュレーション結果（株式会社砂川建築研究所による）
2. 暖房スケジュールは、HEAT20 グレード検証で採用している暖房方式と同じ設定（間歇運転）
3. 気象データは、茨城県古河市（5 地域）を用いた
4. 温熱環境シミュレーションプログラム AE-Sim/Heat Ver. 4. 0. 4（Windows7 対応）にて算出
5. 暖房温度 20℃ 冷房温度 27℃で設定
6. 暖房用エアコン COP 5. 56 、冷房用エアコン COP 5. 06
7. 電気料金単価 1kWh 当たり 27 円（税込）

* 4 外皮平均熱貫流率：

住宅の内部から外部へ逃げる熱量を外皮全体で平均した値で、具体的には熱的境界になる壁、床、天井、屋根、開口部などからの熱損失（換気熱損失は除く）の合計を、外皮表面積で除した値。全体 U_A 値が小さいほど断熱性能が高い。

体験棟



展示棟



4. 報道関係者向け見学会

2017年1月20日（金）を予定しております。詳しくは下記までお問い合わせください。

以上

本件に関するお問い合わせ先
旭化成株式会社 広報室 TEL 03-3296-3008